

令和 6 年度 社会教育委員 第 2 回定例会議の概要

1. 日時	令和 6 年 7 月 1 2 日(金) 15 : 30～17 : 10
2. 場所	戸倉創造館 国際交流室
3. 出席者	【社会教育委員】 9 名出席（児玉委員欠席） 【北信教育事務所 生涯学習課】 菅原勇介指導主事 【市職員】 湯原生涯学習課長、寺澤生涯学習係長 宮坂社会教育指導員
4. 会議内容	【委員会の進行状況】 1. 開会（小林副委員長） 2. あいさつ（小林委員長） 市議会議員選挙があった。新議員が千曲市をよくする抱負を述べていた。私たち社会教育委員も、負けないように子どもたち、お年寄りが住みやすいよりよい千曲市になるように、頑張りましょう。 3. 協議・報告事項 （1）経過報告（寺澤係長） ① 5 月 1 6 日開催、北信地区社会教育委員連絡協議会総会・地区研修会(信濃町) ・ 6 名参加（社会教育委員 5 名、生涯学習課職員 1 名） ② 5 月 2 8 日開催、CS に関わる地域・行政のためのスキルアップ研修会 ・ 2 名参加（社会教育委員長 生涯学習課職員 1 名） ③ 6 月 1 2 日開催、長野県社会教育委員連絡協議会定期総会（オンライン） ・ 5 名参加（社会教育委員 4 名 生涯学習課職員 1 名） ④ 7 月 10 日開催、信州型コミュニティースクール推進セミナー（千曲市） ・ 6 名参加（社会教育委員 5 名 生涯学習課職員 1 名） （2）第二次千曲市生涯学習基本構想・基本計画について（寺澤係長） （3）委員として取り組む独自課題等について ・ 委員として関わったこと等について各委員より 4. 北信教育事務所との意見交換（菅原勇介指導主事） 5. 今後の予定等について（寺澤係長） （1）北信地区「地域ぐるみの教育フォーラム」 ・ 1 0 月 1 9 日(土) 須坂市級上高井郡役所 （2）次回、社会教育委員定例会議 ・ 1 0 月 1 1 日(金) 市役所 3 階 3 0 2 会議室 6. その他 7. 閉会（小林副委員長）

【主な協議内容】（進行：小林京子委員長）

（○は社会教育委員、▲は事務局の発言）

3－（１）（２）に関すること

寺澤係長より説明。

3－（２）に関すること

○小林いせ子副委員長

基本計画、基本構想、変わらないのか。

▲寺澤係長

基本構想は変わらず、基本計画を今回見直した。

○丑丸委員

災害に強く、安心安全に暮らす街 ということが基本計画に載っているが、

こ

のこについて実現するために生涯学習として、どうやっていくか、どこに

記

載されているか。

▲寺澤係長

上位計画である千曲市総合計画のなかで位置付けられているもので、その中に今回の第二次千曲市生涯学習基本計画がある。

○丑丸委員

高齢化社会に向け、若い人たちが育っていかなければいけない。若い人たちに向けて、どう健康づくりやスポーツなどを伝えていくか。スポーツは楽しいという気持ちにさせていきたい。だれでもできるようなニュースポーツから親しみをもって取り組めると良い。若い人にやってほしい。スポーツジムは若い人が多く、意欲的で意識が高い。たとえばスポーツジムと連携するなどのことも考えてはどうか。

▲寺澤係長

具体的な取り組みとして、４ページの「健康づくりとスポーツの振興」に記載されている。

○小林委員長

中学の体育や部活で、運動が苦手だという意識を持って大人になってしまう人がいる。小さいころから運動をたくさんして、体を動かすことが楽しいという意識を持てるようにしたい。

○寺澤委員

上山田のサロン、上山田小学校４年生が運動会の踊りをお年寄りに披露したり、交流をしたりした。子どもたちの元気がお年寄りの精神的にいいものであると思う。

○窪田委員

30～40代は仕事を持っていて時間や機会がとれず、スポーツができないという人も多い。やりたいという思いを持っている人は多い。民間で習っている人はいるので、市と民間で連携してはどうか。

○柳澤委員

学校の立場から。中学校で担ってきた部活動は、令和 8 年度には、地域移行する。部活動では技能を競う部分があり、運動嫌いにつながったこともあった。また、吹奏楽などもコンクールで成績を上げることが大事だった。これが一つの目的であるが、本当の楽しさに触れるということでは、どうだったか。部活動が担っていたことを、地域に移行していくのだが、地域の受け皿を広げないと、苦しくなる。受け皿づくりに力を貸していただきたい。

○丑丸委員

公民館でいろいろな講座をやっている。公民館で人と人とのつながりをつける舞台として公民館をうまく活用したい。さらに、公民館をクローズアップして行ってほしい。

○小林いせ子副委員長

公民館報が 100 号になる。公民館がつながりを持って活動していることを、記事にしたい。公民館に集まるのは女性が多い。男性を仲間に入れて、つながっていききたいので協力をしてほしい。

○寺澤委員

男は年齢を重ねると、集まらない。面倒がる。老人クラブも解散だとか。集まってもほとんど女性。分館でも集まるとよい。

○丑丸委員

分館もそうだが、6 公民館のいろいろな講座に参加できないか。麻雀というと男性も集まっている。好きな講座があれば、ぜひ参加してほしい。また、基本計画の中に「公民館」という言葉をもっと入れてほしい。

▲寺澤係長

基本計画の 10 ページのところで触れられているので、今後検討していく。

3 - (3) に関すること

▲寺澤係長

事例発表として、北信地区「地域ぐるみの共育フォーラム」で千曲市が発表する予定。小林委員長が、「小学生サマースクール」を予定している。

○小林委員長

7 月 29 日～8 月 2 日に、分館で小学生の居場所づくりを考えた。しかし、分館が借りられなかったため、小林の家で実施することにした。

夏休みに自宅の中で過ごしている子どもたちを集め、運動、レクリエーション、夏休みの宿題、昼食づくりなどをして、地域みんなで楽しく穏やかな時間を過ごす居場所としたい。参加費は 1 回 500 円で、15 名ほどの参加を見込んでいる。お手伝いしていただければ、ありがたい。

○丑丸委員

できれば参加したい。本当は、公的な施設でやることがよい。

	4 に関すること ＜菅原指導主事＞ 「社会教育委員の活動を充実したものに」 しあわせ信州創造プラン 3. 0 で社会教育委員についてみると 柱 4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる 柱 5 誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる 5－4 学びの共創による地域づくりを推進し、生涯を通じた多様な学びを創造する 社会教育とは 学校の教育課程として行われている教育活動を除き、主として青少年及び成人 に対して行われる組織的な教育活動である。高齢者のみが対象ではない。 社会教育委員の役割としては、地域の意見を社会教育行政に反映させるという ところが一番の役割として期待されている。地域や組織の代表者として、委員になっている。 社会教育委員の特殊な部分は、独任制である。それぞれの取り組みを充実させ、意見交換し、よりよい活動にしていこうという意味である。 社会教育委員に求められていること 行政と市民のパイプ的役割 家庭や地域の教育力向上のための直接的な貢献 地域での社会教育活動活性化のためのネットワークづくり 5－（１）に関すること ○小林副委員長 今年度の図書館まつりについて、どうなっているのか。 ▲寺澤係長 図書館まつりは 10 月 19 日（土）で予定しており、地域ぐるみの共育フォーラムと日程が重なっている。また文化会館の工事の関係で場所が変わる（ことぶきアリーナ柔道場）。そのため図書館まつりと併せて行っている子ども広場への社会教育委員の協力については難しいと考えている。子ども広場については、来年 1 月に開催予定の千曲万博でご協力いただけるか検討していく。
--	---